

平成30年度 長寿科学研究者支援事業 申請書(新規申請者用)

平成30年__月__日

公益財団法人長寿科学振興財団
理事長 祖父江 逸郎 様

自宅住所 〒

自宅電話 _____
フリガナ _____

申請者 氏 名 _____ 印
生年月日 西暦 _____ 年 _____ 月 _____ 日生(才)

平成30年度長寿科学研究者支援事業に応募したいので次のとおり申請書を提出します。

1. 研究課題名 : 日本人の前期高齢者における実態等に関する調査・研究等のレビュー
2. 計画経費 : 金 _____ 円
3. 研究予定期間 : 採択日から平成31年3月31日
4. 申請者の所属等

所属機関 部局		所在地	〒
連絡先	TEL FAX E-mail	職名	
最終卒業学校 卒業年次 学位		専攻科目	

5. 経理担当者

フリガナ 氏 名		所属機関 職名	
連絡先	TEL FAX E-mail	所在地	〒

6. 推薦者

上記の研究者支援事業申請者を推薦します。

所属機関長	職名	
	氏名	職印
	所在地	〒
	TEL	

7. 研究組織

研究者名	分担する研究項目	最終卒業学校・卒業年次・学位及び専攻科目	所属機関及び現在の専門 (研究実施場所)	所属機関に おける職名

8. 研究計画・方法

<p>1) データ収集方法</p> <p>2) 将来の必要介護量の推計方法</p> <p>3) 文献レビューの方法</p>

9. レビューを行うことで期待される長寿社会構築に対する意義について、ご自身の考えを記載ください。

--

10. 申請者の研究歴等

申請者の研究歴、レビュー作成に携わった経験
発表業績：著者氏名・発表論文名・学協会誌名・発表年(西暦)・巻号(最初と最後の頁)

11. 他の研究事業等への申請状況

①(現在(申請時)採択されている研究)

新規 継続	研究事業名	研究課題名	代表 分担	補助の金額	所管省庁等	エフォート (%)

②(申請中で採択の可否が判明していない研究)

新規 継続	研究事業名	研究課題名	代表 分担	補助要求額	所管省庁等	エフォート (%)

12. 研究費計画

全体経費(助成対象となる全ての経費(総合計))

経費区分	金額	積算内訳
1.諸謝金 2.旅費 3.消耗品費 4.印刷製本費 5.通信運搬費 6.賃借料 7.会議費 8.賃金 9.雑役務費	(円)	
合計		

申請書作成上の留意事項

1. 「申請者」について

- (1) 氏名は、自署又は記名押印で記入すること。
- (2) 住所、電話は、平成 30 年 4 月 1 日以降の申請者の自宅住所、電話を記入すること。
- (3) 年齢は平成 30 年 4 月 1 日現在の年齢を記入すること。

2. 「計画経費」について

助成対象となる全ての研究計画経費の総額を記入すること。

3. 「申請者の所属等」について

- (1) 所属機関は、申請者が勤務する機関の正式名称を記入すること。
- (2) 専攻科目は、当該研究事業に関係あるものについて記入すること。

4. 「研究組織」について

申請者(研究代表者)及び研究者(研究代表者と研究項目を協力して研究を実施する者をいう)について記入すること。

5. 「研究計画・方法」について

研究目標を達成するため、研究全体の具体的な研究計画を簡潔に記入すること。また、1)候補となる調査・研究・報告などのデータ収集方法、2)将来の必要介護量の推計方法、3)文献レビューの方法データベースについても記入すること。

6. 「レビューを行うことで期待される長寿社会構築に対する意義について」について

現在の長寿社会のどういう点に貢献するのか、当該レビューによって直接得られる結果だけでなく、間接的に期待される社会的成果(社会への貢献、国民の保健・医療・福祉の向上等)についてご自身の考えを、1,000 字以内で記入すること。

7. 「申請者の研究歴等」について

- (1) 申請者の研究歴について、研究を行った研究機関名、共同研究者(又は指導を受けた研究者)、研究課題、研究機関等について記入すること。また、レビューを行った経験がある場合はその旨も記入すること。
- (2) 発表業績には、それぞれ過去 3 年間に学術誌等に発表した論文・著書のうち、主なものを選択し、直近年度から順に記入すること。

8. 「他の研究事業等への申請状況」について

申請者が、厚生労働省から交付される研究資金(特例民法法人等からは配分されるものを含む。)、他府省の研究資金、独立行政法人から交付される研究資金及び特例民法法人等から交付される研究資金等への研究費を受けている場合は①(現在(申請時)採択されている研究)に、申請を行おうとしている場合は②(申請中で採択の可否が判明していない研究)について記入すること。

9. 「研究費計画」について

[別表1、2]の単価表を参考に、(作成例)に従って記入すること。

10. その他

各項目の記入量に応じて、適宜、欄を引き伸ばして差し支えない。